

教育子午線

Kyoiku-Shigosen



国立大学法人
兵庫教育大学

February, 2018

vol.46



◎教育最前線

兵教大の英語教育
—外国語教育の充実に向けて—

本学の英語教育活動について

小学校で2020年度から全面实施される、「外国語活動」と「外国語」については、前号の題目「新学習指導要領「外国語活動」への期待」で書かせていただきました。ちょうど先日、文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課教科調査官の直山木綿子氏の講演を聞く機会がありました。平成30(2018)年度と31年度の移行期における授業がいかに重要であるか、中学校に進学した後にも影響が及ぶことを力説した素晴らしい内容でした。一方、今後小学校における「外国語活動」と「外国語」がうまく機能すれば、その世代の子供たちが大学に入学する頃には、ずいぶん学生気質も変わっているだろうと期待できます。多くの卒業生が小学校教員となる本学の学部学生にも、要求される「外国語活動」と「外国語」の授業力をもっと実感して欲しいものです。既に、数年前から小学校教員採用試験では、英語資格に対する加点措置等を行う教育委員会が増えています。本学の場合、学生にどれだけ英語学習を課すかは、学生の将来を左右する問題ともいえます。しかし、英語に限らず語学は「慣れ」以外に上達の道はありません。そうであるなら、カリキュラムや課外学習にどれだけ英語を盛り込めるかが焦点になってきます。今回は、本学が実際に行っている様々な英語教育活動を紹介します。

最近、台湾で行われたある会議で、東南アジア、特にタイの大学学長10名以上が参加する会がありました。多少の上手下手はあっても言葉は全員英語でした。また、昨年11月に参加したカンボジアの国立8大学の学長が集まった会議では、スピーチは全員英語でした。かなり上手な学長も多く、10年以上前には考えられないことです。おかげで東南アジアの大学学長と十分話をすることができました。もはや英語は若い世代の話題だけではなく、ビジネスはもちろん、アカデミックな世界でも、相互理解のためにシニア世代でも英語ができないとコミュニケーションが成り立たないのです。AI翻訳機を持ち歩くようになれば、英語力など関係ないという人もいるかもしれませんが、外国の方たちと一緒に食事をする時や、観光するのに翻訳機を見ながら行うというのは実際的ではありません。

母語以外で会話するというのは実にエキサイティングな経験です。その楽しさや喜びを多くの人が味わえば、社会の雰囲気も変わるのではないのでしょうか。

学長 ふくだ みつ ひろ
福田光完





英語コミュニケーションⅢ(学部)



小学校授業実践英語演習Ⅱ(大学院)

兵教大の英語教育

外国語教育の充実に向けて

学習指導要領の改訂に伴い、小学校の中学年で「外国語活動」、高学年で「外国語科」が導入されるなど、外国語教育の充実が求められています。学校現場では、これらの授業での指導力とともにALT(外国語指導助手)とのコミュニケーションなど英語力の向上が不可欠となっており、近年、教員採用試験に英語資格等による加点措置を導入する教育委員会も増えています。多くの学生が教員となる兵庫教育大学での外国語教育の充実に向けた取り組みを紹介します。



英検対策講座



DHPプログラム

学校教育学部 英語に関する授業科目

科目区分	履修年次	授業科目名
表現コミュニケーション科目	1	英語コミュニケーションⅠ
	1	英語コミュニケーションⅡ
	2	英語コミュニケーションⅢ
	2	アカデミック英語Ⅰ
	2	アカデミック英語Ⅱ
初等教科指導法科目	3	初等英語教育法
専門教育科目 (教科に関する科目)	3	英語学概論
	3	英語学基礎論
	3	英語学特論Ⅰ
	3	英語学特論Ⅱ
	2	英米文学概論
	3・4	英米文学特論
	3	英米文学研究Ⅰ
	3・4	英米文学研究Ⅱ
	1	オーラルコミュニケーションⅠ
	2	オーラルコミュニケーションⅡ
	3	ライティング
	1	異文化理解Ⅰ
2	異文化理解Ⅱ	
専門教育科目 (教職に関する科目)	2	英語科教育論
	2	英語科指導論
	3	英語科授業研究
	3	英語科教材論

大学院修士課程 英語に関する授業科目

科目区分	履修年次	授業科目名
専門科目	1・2	英語コミュニケーション授業研究
	1・2	英語科におけるカリキュラムと評価の研究
	1・2	英語教育研究法
	1・2	英語科教育史論
	1・2	英語音声指導論演習
	1・2	小学校英語教育論
	1・2	小学校英語教育論演習
	1・2	英語教育内容論Ⅰ(英米文学)
	1・2	英語教育内容論Ⅱ(英文法と言語理論)
	1・2	英語教育内容論Ⅲ(英語の変異と語法)
	1・2	英語教育内容論Ⅳ(音声学・音韻論)
	1・2	英語教育内容論Ⅴ(アカデミックライティング)
	1・2	英語教育内容論演習Ⅰ(英米文学)
	1・2	英語教育内容論演習Ⅱ(英文法と言語理論)
	1・2	英語教育内容論演習Ⅲ(英語の変異と語法)
1・2	母語学習と外国語学習	
1・2	言語の理解と表出	
小学校英語活動プログラム開設科目	1・2	小学校授業実践英語演習Ⅰ
	1・2	小学校授業実践英語演習Ⅱ
	1・2	小学校英語活動授業研究
	1・2	小学校英語活動教材研究
	2	小学校英語活動インターンシップ
	2	インターンシップリフレクション
1・2	海外教育体験実習	

学部授業科目 「英語コミュニケーションⅢ(Cクラス)」

■科目区分/表現コミュニケーション科目 ■履修年次/学部2年 ■受講者数/24人

受講生のコメント

の授業では、ウェンディ先生の説明や指示など、開始から終了までずっとオールイングリッシュです。ペアで文章を考えながら生活で使える英会話について学んでいます。授業を受け始めた頃はすぐに聞き取れなくて、ゆっくり話してもらってました。そのうちにだんだん慣れて聞き取れるようになり、今では毎回楽しく授業を受けています。ウェンディ先生の出身であるオーストラリア独特の言い回しなども知ることができ、英語をもっと学びたいと思えました。



の は ら ま ゆ こ
篠原麻友子さん
学校教育学部
学校教育系コース2年



校に加えて小学校でも英語を教えるために来日したさまざまな国のALTに対応する機会や、教員が海外の姉妹校などへ生徒を引率する

▼学生はペアになって、旅行で使う会話文を作成。教員からフィードバックを受けます。
▼目的別による表現力向上のために、「会話の始め方」「依頼の仕方」「知らない単語の意味の明確化」「助言の受け方」等のコミュニケーション戦略を取り入れています。
▼学生が興味のある国内外の旅行について、例えば海外の遊園地やファストフードなどの情報を収集し、ペアで調査したり、プレゼンテーションを行ったりする機会を設けています。

授業の概要

英語コミュニケーションⅢの内容は教員によって異なりますが、私の担当するクラスでは実際に海外旅行で使える英語を学習し、旅行について英語で発表することを目標としています。最近では中学校、高校に加えて

機会が増えました。そこで、学生が在学中に海外留学や海外旅行で異文化に触れる機会を持てるような授業内容に設定しています。

学びのポイント



担当教員
言語系教育コース
多田ウェンディ講師

学部授業科目 「英語科授業研究」

■科目区分/専門教育科目 ■履修年次/学部3年 ■受講者数/15人

受講生のコメント

グループ別に行った模擬授業で最も意識したのは、活動選びです。1コマの中に4技能をバランスよく取り入れること、児童・生徒一人一人に十分な発話量を確保することなどです。私たちが小学生の頃は外国語活動が必修ではなかったため授業を考えることは難しかったのですが、指導法、実際の授業の分析、模擬授業と段階を踏むことで、英語科の授業をより良いものにするポイントを見つけられたように思います。教員になったときには、学んだことを生かして子どもたちが英語を楽しめる授業にしたいです。



あかま ぶ き
赤松布規さん
学校教育学部
言語系コース3年



ます。具体的には、小学校、中学校、高校において英語を教えるために必要とされる基本的な言語習得理論、それに基づいた指導理論の理解を基

▼授業の前半では、グループ討議と講義を通して、各スキル別のコミュニケーション力を育てる授業に必要な指導理論について学びます。
▼後半では、前半で学んだ知識を使って、実際の授業の観察・分析活動を通して、授業改善のための分析力を養います。
▼最後に授業観察や分析活動で学んだことを基にグループで模擬授業を行い、その内容について研究討議を行うことで、理論に基づいた実践的な指導技術の習得を目指しています。

授業の概要

「自分が教えられたように教える」というのではなく、理論に基づいた授業活動をデザインできることを目標としています。

に、言語スキル別(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)の授業デザインの方法と、その実践的指導技術の習得のための授業を行っています。

学びのポイント



担当教員
言語系教育コース
近藤暁子准教授

大学院授業科目 「小学校授業実践英語演習Ⅱ」

■科目区分／小学校英語活動プログラム開設科目 ■履修年次／大学院1・2年 ■受講者数／7人

受講生のコメント

毎回、みんなで英会話を楽しむことから授業が始まります。コミュニケーションが目的なので、相手に伝えたいという気持ちが自然と生まれ、主体的に英語を学ぶ意欲につながっています。また、教育や心理学についての英論文を読み、専門家の言葉に触れ、ディスカッションすることで視野も広がってきています。「共に、周りの人や物事から学ぼう」という先生の姿勢も、私自身の学びとなっています。自らが学びを求めてアクションを起こし、さらに学びを広げていくことができる、そんな素晴らしい授業です。



くろかわ
黒川さゆりさん
修士課程
教育コミュニケーションコース1年

▼各学生が所属するコースでの専門知識を生かして、国内外の社会問題や教育に関する英文記事を読み、それを土台にグループ討論を行っています。トピックは、アクティブラーニング、成長思考、感情知能、ポジティブ心理学、第二言語習得など、多岐にわたります。

▼学生は、私のサポートを受けながら、会話、討論、プレゼンテーション等を通して、



学びのポイント

現職教員および教員を目指す学生が、小学校の授業で柔軟に英語を用いる力と、さらに海外の教職員と英語で討議できる力を養うことを目標としています。前期の「演習Ⅰ」の発展編に当たる科目です。

▼小学校での英語授業のシミュレーションとして、クイズや話し合い、ロールプレイ、ストーリーテリング、即興劇等の活動を行っています。

▼学生たちは、それぞれの経験やアイデア、知識を分かち合いながら、豊かな言語学習環境の中で学んでいます。

授業の概要

て、英語力を高めています。



担当教員
マーク・テラー 非常勤講師
平成19(2007)年修士課程言語系コース修了生

派遣留学制度

大学の協定校である米国ウィスコンシン大学オークレア校に1年間留学しました。現地での生活は、一見何も変わらないようでありながらほぼ全てが新しいことばかりで、悪戦苦闘の毎日でした。そんな中で、大事なことに気付くことができました。それは、失敗することの大切さです。異国の地で失敗を重ねたことによって、以前は



恥ずかしいという感情しか生まれなかったのが、今ではその失敗は学びに直結する大事なプロセスなんだと思えるようになりました。この留学経験は、将来教員を目指す私にとって掛け替えのないものとなりました。



平成28年9月から29年8月まで、米国・ウィスコンシン大学オークレア校に留学
かないひろき
金井宏樹さん
学校教育学部
学校教育系コース4年

1年間、フィンランドのユヴァスキュラ大学に英語教育を学ぶために留学しました。フィンランド語は、ドイツ語やフランス語と同じ語族に属しているわけではありません。それにもかかわらず、フィンランド人は英語を流暢に話すことができます。現地の小学校・中学校の授業見学や大学での授業を通して、教育法や制度の他に、社会的な事情などが要因になっていることを知ることができました。



留学を通して、言葉も背景も違う国の留学生と教育について話し合えたことは、非常に良い経験になったと思います。



平成28年9月から29年8月まで、フィンランド・ユヴァスキュラ大学に留学
あべしょうだい
安部翔大さん
学校教育学部
言語系コース4年

学

内選考を経て学長の許可を受けた学生が、海外の交流協定大学で学習する制度を設けています。留学期間は6月から1年以内で、卒業に必要な要件を満たすことが可能です。

たしてれば留年することなく卒業することもできます。また、留学先で習得した単位は、内容によっては大学の単位として認定を受けることができます。

英語力向上の取り組み

正課の教育以外にも、英語力を磨いたり国際感覚を養ったりとスキルアップしたい学生向けにさまざまな取り組みを展開しています。

Eigo de ランチ

学生の英語力向上や外国人留学生と日本人学生との交流を目的に、前期と後期に各4回実施している恒例行事です。ランチの間はイングリッシュ・オンリー。毎回、海外旅行の話や留学生の自国の話、好きな日本のアニメなどの話で大変盛り上がりします。



参加者のコメント

同年代だけでなく、海外で教育関係の仕事をしている留学生とも英語で話し、「生きた英語」に触れることができました。国ごとの教育について知ることによって国際理解にもつながり、もっと英語で上手にしゃべれるようになりたいという意欲が湧きました。



はら なお こ
原 直子さん
学校教育学部
学校教育系コース2年

英語力向上対策

大学教職員や外部講師による英検、TOEIC®の受験対策講座を開いています。また、大学を会場とした英語検定試験(団体受験)も実施しています。

講座名	内容
英検試験対策講座	ガイダンス、1次試験対策(筆記・リスニング)、2次試験対策(口頭試問)
英検セミナー	リーディング・リスニング・ライティング・スピーキング
TOEICセミナー	初級レベルの受験対策、中級レベルのリスニング対策

英語検定試験



TOEICセミナー



海外短期派遣プログラム

海外の協定校と連携した研修プログラムで、個人での海外旅行では訪ねることの難しい学校教育現場への訪問や、現地の学生との交流が可能となるような内容が含まれています。平成29(2017)年度に実施した2つのプログラムには、それぞれ学部生、大学院生が10人程度参加したほか、兵教大の教職員も随行しました。

英語研修プログラム(オーストラリア)

自然豊かなオーストラリアで、ホームステイをしながら英語を学ぶプログラム。ゴールドコーストにある語学学校でさまざまな国々から集まる学生たちと共に、各自の英語力に応じたクラスで短期集中的に学習しました。



- 訪問地 / オーストラリア・ゴールドコースト
- 日程 / 平成29年9月中旬(9日間)

欧州文化研修プログラム(フィンランド)

フィンランドの学校教育を学ぶことを主な目的としたプログラム。協定大学のユヴァスキュラ大学で同国の教育現場を体感するためのレクチャーを受け、現地の小学校も訪問しました。



- 訪問地 / フィンランド・ユヴァスキュラ
- 日程 / 平成29年9月中旬(7日間)

参加者のコメント

研修プログラムでの9日間は毎日が初めての連続で、とても充実していました。参加しないと分からない達成感や充実感があり、参加して本当に良かったです。本当の家族のように迎えてくれたホストファミリーとの出会いは一生の宝物です。



かま お あ や か
鎌尾朱華さん
学校教育学部
学校教育系コース2年

短期海外派遣プログラム：英語研修プログラム(オーストラリア)

DHPプログラム

—協定大学間学生交流プログラム—

韓国・大邱(Daegu)教育大学校、日本・兵庫(Hyogo)教育大学、台湾・屏東(Pingtung)大学の3大学が毎年輪番で実施する、学生間交流プログラムです。英語によるプレゼンテーションや相互のコミュニケーション、異文化体験等に挑戦することを目的としています。





とり ごえ たか し
鳥越隆士
障害科学コース
教授

●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは
兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学
の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信
し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平
成23(2011)年から「理論と実践の融合」に関する学
際的な共同研究を教員から公募し展開しています。

研究レポート

聴覚障害児のインクルーシブ教育： 合理的配慮としての手話活用の実践的検討

(平成27～28年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)



ろう者の手話教員が声を使わず、手話による対話を通して手話の指導を進めています。

手話(ここでは日本手話)は、日本語とは異なる独自の構造を持つ言語で、ろう者の社会で用いられてきました。聴覚障害児教

育では、長い間手話を用いない教育(聴覚口話法)が行われてきましたが、近年、聴覚障害児にとって、音声言語だけでなく手話を学び、いわば

バイリンガルになることの意味が大きいと考えられるようになってきています。聴覚特別支援学校(ろう学校)で手話を活用した取り組みが広がっています

が、通常の学校での手話による実践は非常に乏しく、また系統的、組織的な研究も行われていません。本研究では、難聴学級を持つ通常の小学校で手話活用の可能性を検討しました。

実施した取り組みは、①聴覚障害児への手話指導、②通常の学級の授業での手話通訳による支援、③健聴児に対する手話指導、④教員研修を含め、学校全体としての手話への取り組みです。調査対象は難聴学級を持つ小学校2校で、難聴学級在籍児童はそれぞれ10人から15人程度です。今回は、主に①について報告

します。手話の指導は1カ月に2回程度。手話の先生は、成人のろう者です。音声を用いず手話のみを使います。手話学習の1年間を追ってみました。次の四つにまとめることができました。

● **声から手への変化**
当初、音声だけで先生に呼び掛けたりしましたが、徐々に手話と声を併用して、さらに手話のみで話し掛けるようになりました。併用のやり方は、まず発言の一部のみが手話で表現されましたが、徐々に手話と声が対等になり、さらに手話の方が中心になっていきました。

● **耳から目への変化**
当初、教員の手話を見なかつたり、自分の手話表現を相手の視覚的注意の獲得なしに表現したりすることがありました。手を振る、軽く相手をたたくなどにより相手の注意を獲得したり、発言中に相手が見ているかどうかを確認したりしながら発言するようになりました。

● **多様で柔軟な関わり**
当初は手話表現が十分で

なく、声のみで話し掛け、伝わらないことが多く見られました。身振り、文字、指文字、口型など、手話だけでなく、さまざまな方法を柔軟に使ってコミュニケーションを行うようになっていきました。

● **対話集団の形成と談話の拡張**
当初は教員が尋ね、児童が答えるという1対1のやり取りで学習が進んでいきましたが、まず児童同士の手話による対話が生まれ、さらに教員も含めた児童間の手話による対話空間が形成されました。また、教員から児童への一方的な関係だけでなく、児童から教員へ、あるいは児童同士のさまざまな話題の展開(情報の追加、質問、関連した経験を話すなど)が見られるようになっていきました。

このプロジェクトは、今年度で8年目を迎え、現在も継続中です。手話を学んだ聴覚障害児たちがどのように成長していくのか、研究は新たな段階に入りつつあります。

この先生にズームイン



研究は“現物史料主義”

歴史を体感できる史料として、初版本を集めている。写真は上から、ランケの「ローマ・ゲルマン諸民族史」、ブルクハルトの「チチェローネ」「コンスタンティヌス大帝の時代」で、いずれも150年以上前のもの。かつては海外を訪れるたびに古本屋巡りをしていたが、現在はインターネットで購入しており、「便利な時代になった」と喜んでいる。



自宅でも歴史を体感

約3年前から築90年という純和風の家に暮らしている。「前任地の弘前時代に日本家屋の良さを知り、こちらでも毎月のように夫婦で篠山に通って執念で見つけました」。欄間や格子戸などには職人技が光る繊細な細工が施されているという。



もり たけし
森田猛 教授
社会系教育コース

大阪府出身。昭和59(1984)年同志社大学文学部卒業、平成2(1990)年同大学院文学研究科博士課程退学。25年に博士(文化史学)取得。5年から弘前学院大学文学部で講師、准教授、教授を歴任し、28年から現職。研究分野はヨーロッパ史学史で、特にドイツやスイスが中心。授業は「外国史特講」(学部)、「歴史教育内容論Ⅳ(西洋史)」(大学院修士課程)などを担当している。

語り出すと止まらない時計愛

父親の形見としてオメガの腕時計(写真中央)を譲り受けて以来、機械式時計にはまり、コレクションは30個を超える。とりわけスイスの高級時計メーカー、IWCのファン。「堅牢な作りと、1885年以降の全製品の記録や設計図を残しているのどんなものでも修理に応じるという、出荷した後も責任を持っているところが良いですね」



オークション好きな一面も

歴史的な資料(史料)をオークションで探し出すのが好き。ゲットしたものは歴史学を身近に感じてもらおうと授業などで学生たちに披露することも。ただ、狙いとは別に「高かったでしょう」と懐具合を心配されることもしばしばだと苦笑する。着用しているのはフリーメイソンの正装であるエプロン。

地場産品をリスペクト

「その土地で長い時間の試練に耐えて今に残った技術は素晴らしい」と称賛する地場産品を、日常使っている。写真は播州織と栃木レザーのコラボトートや、1本で2通りのデザインが楽しめるおしゃれな播州織のネクタイ、津軽塗と樺細工のボールペン、学生たちからプレゼントされた姫革細工のペンケース。



先生に質問!

先生のご専門は。

A 近代歴史学の父と呼ばれるランケの弟子の一人、ドイツ系スイスのブルクハルトを中心に研究しています。国家を中心とした同時代の歴史学者とは違い、彼は普通の人たちが当時何を考えていたのかという所にまで目を配っている点が面白く、人々の息遣いが聞こえるような歴史書を書いた人物です。本人の著書を読み解くだけでなく、誰にどんな手紙を書き、大学ではどのような授業を展開していたのか、そして当時何が話題になっていたのかなど彼の生きた時代も含め、さまざまな角度から調べています。

Q デミではZOOMINの指導しているのですか。

A 学習者集団としてみんなが教え合い、刺激し合えるよう、各自が研究した内容を発表するのが基本です。卒論・修論の追い込みの時期になると個人指導に切り替えるのですが、学問で苦しむ最後の機会になるかもしれないのであえて厳しく、細部にわたって指摘し、本人が十分に力を出し切れるまで付き合います。

Q 学生に期待することは。

A 歴史は自分とは関係のないことを記憶する学問だと思われがちですが、実はそうではなく、身の回りのさまざまな物事は歴史と深いつながりがあります。そして、私たちは前の世代から何かをもらって次の世代にパトナタッチする、歴史的な存在でもあるわけです。やがて若い世代を育てる仕事に就く学生たちには、パトンを渡す立場としての自覚を持ちながら子どもたちを見守ってほしいと思います。

同窓生からの手紙

宮崎県出身。平成5(1993)年学校教育学部生活・健康系(体育)専修コースを卒業。9年にチンドン屋に感銘を受け、その世界に飛び込む。現在は、チンドンと教育を軸に、宮崎県家庭教育チーフトレーナー、みやこんじょ大使、都農町ふるさと大使など幅広い活動を展開中。



みやた わかな
宮田若奈さん
花ふぶき一座代表 / スマイルプランナー

私にしかできない チンドンの道を歩んでいます



◀歳末大売出しの宣伝で、宮崎市内のアーケード街を練り歩いている様子

子 子どもの個性を伸ばすことができる教員になりたいと学生生活を全力で過ごしていた大学2年生の時に、自分の天命を「人に笑顔と元気を与える人になる」と決めました。その手段が、結婚後に大阪で出会ったチンドン屋の親方によって今のチンドンの道を歩くことになるのは、学生の時には夢にも思いませんでした。大学時代の経験から、私にしかできないチンドンの道があることは言うまでもありません。

県の産業教育審議委員などを務めたりすることもそうですが、小さな子どもからお年寄りまで、子どもからお年寄りまで、訪れる場所も商店街からイベント会場、個人のお宅まで、その場に合わせてコミュニケーションを図り、皆さんの心に明かりをともし、話題を提供していく。日本の古き良き風景を伝え続ける使命感で、飽きることなく、毎日が新人のような気分で生きています。

子どもからお年寄りまで、訪れる場所も商店街からイベント会場、個人のお宅まで、その場に合わせてコミュニケーションを

学生の方々は、今やっていることがどこで生きるか分かりません。日々の出来事を宝物として大切に、今後の人生に生かしてください。宮崎から皆さんの夢を応援していきたいと思っています。

LETTERS FROM OB & OG

岐阜県出身。平成21(2009)年、大学院修士課程教育コミュニケーションコース(小学校教員養成プログラム受講)を修了。その後、岐阜県内の小学校に勤務。現在、育児休業中。



たかはし たかこ
高橋貴子さん
岐阜県岐南町立東小学校教諭

日本を知ることの大切さを チューター経験で学びました



▶年末は家族と一緒に石臼で餅つきをしました

「What's your religion? You're Buddhist? (あなたの宗教は？仏教徒?)」。イランとフィリピンからの留学生にこう尋ねられ、戸惑ってしまったことを今でも覚えています。

在学中、国際交流会館のチューターとして1年間、多文化・多言語・多民族の留学生たちが生活する会館でたった一人の日本人学生として生活しました。その中で、自分は「日本人」として見られ、「日本人」であることを認識する機会が多くありました。国際社会を生きていくためには、日本の歴史や伝統文化を

学び、自分のアイデンティティを持つこと、文化の多様性への寛容性を身に付け異なる相手と対話する力が大切だと学びました。

現在、1歳と3歳の子どもを育児真っ最中です。英語教育の教材や塾などを目にする機会が多く、英語教育の早期化が進んでいると感じます。私自身、「わが子をバイリンガルに！」と夢見たこともありましたが、でも、英語は「コミュニケーションの一手段。まずは自分が育った日本の歴史や伝統文化を伝え、国際社会を生き抜くための基礎力を育みたいと思っています。」

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修士課程生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成29(2017)年度は6件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更しています。詳しくはHyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。

◎申請締め切り 4月30日(日)

教育実践研究活動に係る表彰者の推薦について

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会鳥取大会(米子市)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、今年度も幅広く推薦ができるようにしています。詳しくはHyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。

◎推薦締め切り 3月31日(土)

クラブ紹介 茶道部



Data

活動場所 / 大学会館3階和室
 活動日(曜日) / 火曜
 部員数 / 男子2人、女子16人、
 計18人
 顧問 / 森田猛教授
 (外部講師: 茶道裏千家
 渡部宗香教授)
 設立年 / 平成17(2005)年

TEA CEREMONY CLUB



私たち茶道部は、大学祭(嬉望祭)での霜月茶会や入学式、卒業式でのお茶会に向けて、渡部先生のご指導のもとお稽古に励んでいます。また、外部での地域イベントなどにも積極的に参加しています。
 日々の活動の中で、お茶の作法はもちろん、社会に出て役立つ作法や姿勢なども学ぶことができます。大学院生や留学生も入部しています！年齢、性別を問わず、いつでも皆さんの入部をお待ちしています。ぜひ一度、茶道部を見学してください！

紹介者



茶道部部长
 森 那沙さん
 学校教育学部
 言語系コース2年

①初釜の様子 ②嬉望祭でのお茶席「霜月茶会」③薄茶のお点前

茶道を始めたきっかけは、見学时に一連の所作が美しいと思ったからです。知れば知るほど茶道は奥深いと感じます。4年間で先輩方のように一つ一つの所作を丁寧に、多くのお点前ができるようになることが目標です。

茶道は大学院に進学してから始めました。抹茶が好きで、歴史上の偉人たちが愛した茶道を私もやってみたく、茶道部に入部。お稽古を通して、日本人のおもてなしの精神、日本文化を改めて知ることができました。



こばやし ちかみ
 小林千賀美さん

専門職学位課程
 小学校教員養成特別コース1年



④

うえはら みゆ
 上原美優さん

学校教育学部
 学校心理系コース1年



ふく い まさ のり
福井昌則さん

修士課程
生活・健康・情報系教育コース2年
昭和51(1976)年、大阪府茨木市生まれ。平成14(2002)年に姫路工業大学(現兵庫県立大学)理学部を卒業後、神戸大学大学院自然科学研究科を中退。社会人経験を経て、現在は兵教大大学院で学ぶ傍ら、関西学院高等部や大阪電気通信大学総合情報学部の非常勤講師などを務めている。「子どもチャレンジ!プログラミング」が29年度の「課外活動プロジェクト」に採択された。



関西学院高等部でプログラミングを指導する様子

キラリな人



子どもたちの
創造性を伸ばす
“最高の教育”を
目指しています

生活・健康・情報系教育コース2年の福井昌則さん

り返る。

一方で教育の基礎を学ぶ必要があると痛感した福井さんは、兵教大で情報教育を専門に学び、「プログラミングで子どもの創造性をいかにして伸ばすか」という研究課題に正面から取り組んだ。そして、非常勤講師を務める高校で自身の仮説に基づく授業を実践したところ、実施前に比べて生徒の創造的態度の指数がぐんと上がり、手応えをつかんだという。

「もともと学者志望だったので、自分が大学院でもできなかったようなことを高校生がやっているなんて!と感銘を受けました」

程なく、その生徒たちが所属する関西学院高等部数理科学部の活動にコーチとして参加し、プログラミングやアプリ開発の技術を教えるようになる。生徒らの若者らしい柔軟な発想に、福井さんの指導により専門的な技術力が加わった結果、コンテストで総務大臣から直接表彰を受けるなど、成果はすぐに現れた。「これはうまくいけば最高の教育になるんじゃないか」と思いました」と振り返る。

春には、研究成果を技術面からさらに前進させるべく、工学系の別の大学院博士課程に進む予定だ。自分以外の教員も共有できるシステムの構築へ、挑戦はこれからが正念場だ。

データで見る兵教生

～平成29年度大学概要から検証～ 地域別入学者数割合

学部、大学院ともに 半数以上が兵庫県出身者

平成29(2017)年度入学者は学部、大学院ともに近畿地区の出身者が最も多く、中でも兵庫県の出身者が半数以上の割合を占めている(兵庫県出身者数/学部121人、大学院144人)。特に、学部においては入学者数の約7割が兵庫県出身であり、地元での進学を目指して入学した学生が多いと思われる。一方、大学院においては、教育委員会からの派遣制度を利用した現職教員の学生も多く、北は北海道から南は沖縄まで、全国の学生が集まっていることが特徴である。

異なる地域出身の学生とふるさとについて語り合い、方言や習慣、食文化、独自の教育など、それぞれの地域性を学ぶ機会にはいかがだろうか。

関西独特の文化を
楽しんでいます



東京都出身

さ さ き ゆう り
佐々木悠里さん

学校教育学部
社会系コース1年

近畿地方での進学を検討し、教員を目指そうと決意して兵教大を選びました。憧れの関西弁や日常に根付いた独特のお笑い文化に触れ、幸せな毎日を送っています。加東市は公共交通機関があまり発達していないので不便ですが、その分、車の運転技術が格段に上がります。これからも、平和で笑いにあふれる兵教大・加東市で充実した毎日を送れたらと思います。

HYOKYO'S DATA

高速バス通学で
地元の便利さを実感



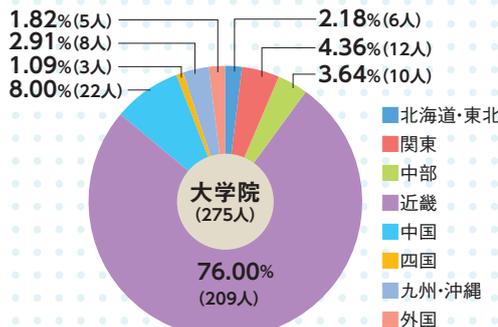
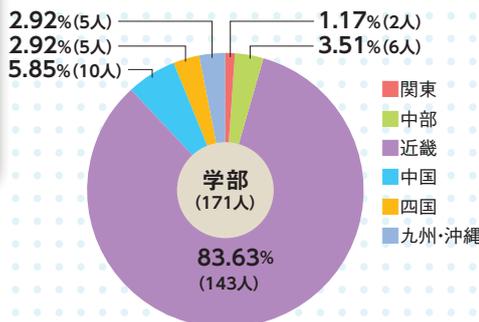
兵庫県尼崎市出身

おお がお のどか
大上和さん

学校教育学部
幼年教育系コース1年

高校の先生方に、教員を目指すなら絶対兵教大がいいと勧められ、受験しました。毎日高速バスで通っていますが、本数が少なかったり渋滞で帰宅時間が遅くなったりと、尼崎の便利さを改めて知ることができました。大学に通うには時間もお金もかかりますが、勉強だけでなくボランティアや旅行、アルバイトなどプライベートも充実した4年間にしたいです。

地域別入学者数割合



入学して感じたのは、良く言えば「学びを深めるのに適した環境」、悪く言えば「周辺に何も無い」でしょうか。お世辞にも都会とは言えない地元・米子市との共通点は、車が必需品ということ。近くに高速道路のICがあり神戸や大阪へ移動しやすいという利点を生かして関西にある数多くの大学を見学し、現場に戻ったときの教育活動に役立てたいと思います。

関西圏の
大学を見て回り
教育活動に
生かしたいです



鳥取県出身(現職学生)

おお もり のり お
大森教雄さん

専門職学位課程
学校経営コース1年

高校の修学旅行で北海道に魅力を感じ、道内の大学へ進学。卒業後、特別支援教育をじっくり学ぶため兵教大の大学院へ入学しました。4年間函館に居たので寒さには慣れたつもりですが、加東市も寒いんですね。兵教大は現職の学生も多いため、現場の声を聞き、自身の学びを深め発展させることができます。多彩な体験や学びを自身の力にしていきたいです。

愛媛から
北海道を経て
兵教大で学びを
深めています



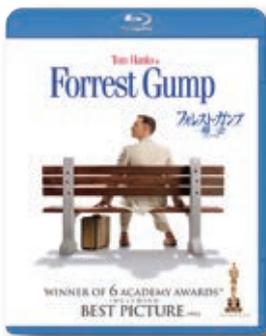
おお にし さ あや
大西紗彩さん

修士課程
障害科学コース1年

愛媛県出身

ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、
行きつけのスポットや思い出の一冊。
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。



しま のぼる
島原 登さん
修士課程
教育コミュニケーションコース1年

MOVIE

「Life is like a box of chocolates. You never know what you're gonna get until you open it up.」(人生はチョコレートの箱を開けてみるまで分からない)は有名な言葉ですが、他にもきつと皆さんの心に残る言葉を見つけられるでしょう。

人間万事塞翁が馬

第67回アカデミー賞で6部門を受賞した映画で、有名なので既にご覧になられた方も多いでしょう。主人公の半生とアメリカの近代史と音楽が織り交ぜられており、時代の雰囲気も感じることが出来る名作です。

この作品が印象に残っている理由は、すてきな言葉がいくつか登場するからです。「Life is like a box of chocolates. You never know what you're gonna get until you open it up.」(人生はチョコレートの箱を開けてみるまで分からない)は有名な言葉ですが、他にもきつと皆さんの心に残る言葉を見つけられるでしょう。

「フォレスト・ガンプ 一期一会」(ブルーレイ)

2,381円(税抜) ※平成30(2018)年2月現在
発売元/NBCユニバーサル・エンターテイメント

勇気を出せる優しい曲です

平成23(2011)年に行われた第93回全国高等学校野球選手権大会に初出場を決めた愛知県至学館高等学校の校歌で、「まるでJ-POPのよう」と話題になった曲です。夢に向かってそれぞれの道を選び、一生懸命に頑張っている皆さん、周りで支えてくれる人の大切さが伝わってくる曲なので、ぜひ聞いてみてください。

軽やかな歌声に引かれ、曲を探し聴いてみて、すごく感動しました。「夢を追い続けるもつと遠くへ行く」。中国から日本に留学に来てさまざまな人と出会い、いろいろなことを経験し、歌詞のような気持ちになるので感慨深いです。

MUSIC



へん こん しょう
辺 琨洋さん
修士課程
障害科学コース1年



KOKIA
「夢追人」-至学館高校校歌(学園歌)
発売元/アトム・ミュージック



ばんしゅう港
加東市上滝野2347
☎0795-48-0255
15:00~24:00(ラストオーダー23:00) 不定休



こ いずみ けい
古泉 啓悟さん
学校教育学部
社会系コース4年

SPOT

のれんをくぐるとレトロな空間に響く、元気なマスターたちの声。「スーこんなものまであるの!?!」と思うほど豊富でユニークな料理が用意されているすてきなお店です。ぜひ一度、立ち寄ってみてください。

海鮮料理の美味しいお店

おいしい魚が食べたい、だけども海に面していない加東市には縁のない話...と諦めたことはありませんか。そんな皆さんに朗報です!「海のないこの地に海の食文化を届けたい」。そんなマスターの思いが込められたお店「ばんしゅう港」。旬で新鮮な海鮮料理や全国各地の地酒が堪能できます。

私の大好きな本

ある日、主人公のお姉ちゃんから弟のノートを見つかることから始まり、それを読みながら回想形式でお話が進んでいきます。大好きな弟の知らない一面を知ったお姉ちゃんの心情と、誰にも言えない孤独を抱えていた弟の気持ちがあうまく表現されています。登場人物たちの揺れ動く感情を表した題名も秀逸です。ここまで書くとお話のような気がしますが、終始穏やかな物語です。附属図書館にもあるので、ぜひ読んでみてください。

BOOK

皆

さんには何度も読み返してしまおうような本があります。私にとって「ぶらんこ乗り」はそういう本です。



おおだいら よしの
大平 吉乃さん
修士課程
認識形成系教育コース3年



いいしんじ
「ぶらんこ乗り」
理論社

URESHINO BULLETIN BOARD

教材文化資料館平成29年度後期展 「学生服—時代と共に」

好評開催中

生徒手帳の誕生や第二ボタンの話、思い出の制服コーナーも。展示を見ながら学生服について考えてみませんか。



- 📅 2月28日📅まで8:30～22:00、土曜、日曜、祝休日
10:00～17:00
- 📍教材文化資料館(附属図書館内)
- 📅 2月25日📅、26日📅
- ☎ 教材文化資料館 ☎ 0795-44-2362

特別支援教育モデル研究開発室・ 大学院発達障害支援実践コース 「平田オリザ氏講演会」

11月9日 総合研究棟大会議室

劇作家・演出家であり大阪大学COデザインセンター特任教授である平田オリザさんを講師として招き、「コミュニケーション教育と演劇」と題した講演会を開き、約70人が参加しました。「コミュニケーションとは何か」という問いに、熱心に耳を傾ける参加者の姿が見られ、盛況な講演会となりました。



NIE×教育ICT 神戸新聞社との連携協定事業 新聞を教材とした連携授業を公開

11月14日 附属小学校

神戸新聞社が開発した新聞作成アプリ「ことまど」を活用した連携授業を公開しました。5年1組の社会科の授業で、児童らはマスメディアの特徴や課題を考え、新聞形式にまとめました。児童からは「本当の新聞を作っているみたいで面白い」などの声が寄せられました。この取り組みを通じて、今後、授業モデルの開発などを進めていく予定です。



第36回 兵庫教育大学大学祭「嬉望祭」

11月11日・12日 加東キャンパス

どこでもつながるというWi-Fiのように兵教生みんながつながりを大切に、一つの大作を作っていくという思いを込め、「Will be Fine ～つながる つたわる～📶」をテーマに開催。模擬店、芸能イベント、附属幼稚園コンサート、バンド演奏、クラブ活動発表など多彩な催しを実施し、多くの人々が来場しました。



↑子ども向けイベント「魔法使い認定試験」



↑よさこい部の演奏



↑吹奏楽部の演奏

第7回「神戸マラソン」に 学生がボランティアとして参加

11月19日 神戸市内

授業科目「社会ボランティア体験学習」の履修者やボランティアステーションを通じて集まった学部生・大学院生25人が、森田啓之准教授引率の下、「ランナーサポート」として沿道で応援。冷たい風が吹き抜ける中、約5時間にわたり、担当ブロックを通過する約2万人のランナーたちを元気づけました。



国際シンポジウム 「幼児教育におけるESD」

11月19日、26日 兵教ホール

子育て支援に関わる人を対象に開催。19日の第一部は「自然の恵みと防災教育」と題し、台湾・国立台北教育大学の翁麗芳教授の講演などが行われました。「ESDとラーニング・ストーリー」をテーマにした26日の第二部はニュージーランド・ヴィクトリア大学のスー・チェリントン教授の基調講演などが行われ、2日間で延べ約140人が参加しました。



公開授業 「グローバルイシュー論」

12月3日 兵教ホール

グローバル化推進教育リーダーコースの公開授業を実施し、63人が参加。モルガン・スタンレーMUFJ証券(株)のロバート・フェルドマンさんが「グローバル人材をいかに育てるか」と題した講演。講演後はさまざまな視点から質疑応答が行われ、これからのグローバル社会を生きる子どもたちの可能性をいかに広げ伸ばすかについて深く考える機会となりました。



平成30年 学校教育学部同窓会総会・研修会

1月6日 神戸ハーバーランドキャンパス

平成24年度以降、1月初めの恒例行事となった学部同窓会の総会・研修会に、卒業生、大学関係者57人が参加。研修会では、グレイディ・クレア助教による「小学校における英語教育」と題した講演のほか、兵教大と連携して英語運用力向上に関する自主講座を行っている猪名川町の教員との対談が行われ、活発な質疑応答で盛り上がりました。



● 催し
● 過去の出来事
● 日時
● 場所
● 休業日
● 問い合わせ先

現場の課題にお答えします!

前芝武史准教授が
日展・次世代を担う
作家10名に選出

日展110年「現代の日展作家たち—日本の美—NITTEN Artists Today: The Beauty of Japan」の次世代を担う作家10名に選出され、スペシャルインタビュー記事が掲載された。前芝准教授は「大学での研究の一端とその可能性について皆さまに知ってもらう機会となり、うれしく思っています」と語っている。



ふじ わら かつ ひこ
藤原克彦
研究推進課長

学校現場や家庭で研究したり
学び続けたりしたい場合に、
必要な本や論文などの文献を
入手する方法を教えてください。



QUESTION & ANSWER

キャンパストピックス

平成29年度1.17防災未来賞
「ぼうさい甲子園」で
フロンティア賞を受賞

専門職学位課程授業実践開発コース2年の曾川剛志さん作成の「大島小子ども防災マップ」を活用した尼崎市立大島小学校の防災教育の取り組みが、初応募の優れた取り組みを顕彰するフロンティア賞を受賞。「指導いただいた吉水教授との2年間の研究の成果が認められ感無量です」と喜びを語った。



兵庫県北播磨県民局と
連携協定を締結

10月13日、兵教大と兵庫県北播磨県民局は、魅力あふれる地域の形成と発展に向けて、相互の連携協力に関する協定を締結した。今後、地域ビジョンや地域イベント企画への学生や教員の参画、地域資源の活用に関する研究等の連携事業などにより、地域の課題解決や活性化に寄与することが期待される。



まず、本学附属図書館は一般の方にも開放しており、本や雑誌の閲覧、館内でのコピーの他、図書館利用者証の交付(発行手数料510円)を受けた方には一部の制限資料を除き貸し出しすることができます。さて、一般的な本、郷土資料などは公共図書館へ行くのが定石ですが、専門書や学術雑誌なら大学図書館を訪ねてみましょう。ほとんどの大学が一般開放しています。本の所蔵先を調べる無料のインターネットサイトには、「カール」[C.N.I. Books]「国立国会図書館オンライン」などがあり、訪問の前

に所蔵を調べられます。そして、近隣に所蔵が無い本でも、諦めず近くに公共図書館で相談してみてください。別の図書館から取り寄せてくれることがあります(有料の場合あり)。雑誌論文は、国会図書館の遠隔複写サービスがあります。同館のウェブページから利用者登録(無料)すれば、検索した中から必要な論文のコピーを自宅に郵送してくれます(有料)。

また近年、インターネット上で学術情報の無料公開が進みつつあり、国内の論文を集録した[C.N.I. Articles]では論文情報を検索し、一部は本文を読むことができます。この他、「JALRO」では各大学の教員等の研究成果を、また「J-STAGE」では学協会が出版した論文を、自宅で検索し本文を読むことができます(例外あり)。その他、政府統計の総合ポータル「e-Stat」、海外文献検索の「ERIC」(教育学)、「PubMed」(医学)等も無料ながら充実しています。以上、代表的なものを紹介しましたが、文献の種類や分野などによって検索対象はさまざまです。文献探索・入手に関する不明な点は図書館員にいつでも相談できるので、ぜひお近くの図書館を活用してください。

兵庫教育大学からのお知らせ

☎=申し込み先 ☎=問い合わせ先

平成30年度 大学院学校教育研究科説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)の教育課程や専攻・コースの概要などについて説明します。個別相談や修士・在学生の体験談の時間も設けます。開催日時、会場等については決まり次第、ホームページで案内します。

☎ ☎ 広報・社会連携課

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2320

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp

大学院説明会(神戸)



大学院説明会(加東)

大学院入学相談室

大学院学校教育研究科(修士課程、専門職学位課程)への入学希望者を対象に電話、ファクス、メールで相談を受け付けます。

※平日のみ

☎ ☎ 大学院入学相談室

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2320

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp

スクール・ パートナーシップ事業

学校教員の資質向上のための研修会や地域の生涯学習活動等の場に大学教員を派遣します。学校や研究グループで研修などの計画を立てる際は、ぜひ相談してください。

☎ (派遣依頼の方法)

①兵庫教育大学ホームページに記載している「講師派遣事業(スクール・パートナーシ

ブ事業)」から各教員の題目を確認

②希望する内容が見つければ担当教員と直接連絡を取り、日程や内容などを調整

③大学に「派遣依頼書」を送付

☎ 社会連携センター

☎ 0795-44-2053、2409

☎ office-renkei-t@hyogo-u.ac.jp

2018兵庫教育大学美術展

学部生や大学院生、附属幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒らによる合同作品展。卒業制作も展示。入場無料。3月4日①11:00からはギャラリートークも。

☎ 日時 3月2日①～6日② 10:00～18:00
(最終日は15:00まで)

☎ 場所 三田市総合文化センター郷の音ホール(三田市天神)

☎ 芸術系コース美術分野(初田)

☎ ☎ 0795-44-2252

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp



吹奏楽部 第34回定期演奏会

吹奏楽部が日頃の練習の成果を披露。クラシックからステージドリルまで楽しい企画が盛りだくさん。ぜひご来場ください。入場無料。

☎ 日時 3月11日① 13:30～(開場13:00)

☎ 場所 三木市文化会館大ホール



☎ 学生支援課

☎ 0795-44-2359 ☎ 0795-44-2320

平成30年度前期展 「実験・観察・体験(仮)」

教材文化資料館に移管された大正期の実験器具の展示を中心に、理科教育の変遷や本学の「コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成プログラム」の紹介などを展示。実験器具の体験コーナーも設けます。

☎ 開催期間 4月2日①～8月31日②

☎ 場所 教材文化資料館(附属図書館内)

☎ 開催時間 平日8:30～22:00

土・日・祝休日10:00～17:00

※附属図書館の開館時間に準じます

☎ 教材文化資料館

☎ 0795-44-2362

兵庫教育大学 創立40周年記念式典



兵庫教育大学は昭和53(1978)年に創立され、今年で創立40周年を迎えました。これを記念して記念式典、記念講演および祝賀会

全国トップクラスの教員就職率 “教員就職に強い兵教大”健在!

文部科学省が2月7日に発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の平成29年3月卒業者の就職状況等について」において、兵教大の教員就職率は全国44大学中3位となりました。教員就職者に保育士就職者を加えた就職率は84.5%、公務員や民間企業等を含めた全体の就職率は92.6%となります。兵教大では、以下の通り教員と保育士就職への取り組みを強力に展開し、学生の就職活動を最大限バックアップしていきます。

- ▶ 4年間の体系的なプログラムによる就職支援
- ▶ 1年次の進路セミナー、2年次の進路セミナーおよび教職キックオフガイダンスなど、早期からの対策を強化
- ▶ 教採特別講座や合宿研修などを盛り込んだ強化プログラムを3年次を通して実施
- ▶ キャリア開発指導員(元公立学校長)による個別の就職相談態勢の充実
- ▶ 外部講師による筆記試験対策講座やキャリアデザイン講座の実施
- ▶ 模擬面接、模擬授業、模擬試験(筆記)の実施

▶▶ 編集後記

★今号はグローバルにも、ローカルにも対応した兵教大の多様性を取り上げてみました。今回も改めて思ったのは、教員、職員、学生と、実にユニークな人材が集まっているなということです。さまざまな人との関わりを生み出すための多様な取り組みに注目してください。(は)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください

◎取材風景

社会系教育コース森田猛教授の取材の様子です。普段はなかなか目にすることのない貴重な初版本を見せていただきながら、その価値や歴史について熱く語っていただきました。



◎あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがき、インターネットのアンケートサイト、メールでご意見、ご感想をお寄せいただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

【あて先】

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学広報室

☎ 0795-44-2431 ☎ 0795-44-2320

☎ office-koho@hyogo-u.ac.jp

アンケートサイトURL

https://jp.surveymonkey.com/r/2DSYL3B



アンケート
サイト

